



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

身近なアイテム“ファスナー”のアレコレ



呼び名って…?

みなさんはファスナーのことを何と呼んでいますか？

「ジッパー」や「チャック」という呼び方もよく耳にしますね。どれが正しいのでしょうか？実は、どれも正しいのです。

「ジッパー」はアメリカで生まれた呼び名。閉めるときの「シューツ」という擬音の「Zip」から付けたそうです。「チャック」という呼び名は、なんと日本生まれ！「巾着(きんちゃく)」からもじって、ファスナーを「チャック印」として販売ところ、評判になり名前が定着したのだとか。知っていましたか？私はこの記事を書くために調べて、初めて知りました。日常の中にはまだまだ知らないことがたくさんあって、とてもおもしろいです◎

先月号の「服と暮らし」で特集したボタン。ちいさなパーツに注目するという内容に、たくさんの反響をいただきました。ボタンと同じくらい、日々何気なく触れているものといえば、ファスナーもそのひとつではないでしょうか。洋服だけでなく、財布やバッグなどにも使われているので、1日のうちに何度も触れることもあるかもしれませんね。かんたんに開け閉めができて便利なものではありますが、破損などトラブルが起こると自力で解消することがむずかしく、困ってしまうことも。ファスナーの仕組みを知っていると、トラブルが起こりにくい使い方を心がけることができ、ちょっとしたことなら自分で直すことができるようになるかもしれません。身近なファスナーについてのアレコレ、ぜひ覚えておいてください。

ファスナーは細かいパーツがいくつも組み合わさってできています。

▷「エレメント(務歯)」…噛み合わせ部分

▷「スライダー」…手で持って動かす部分

▷「テープ」…布の部分

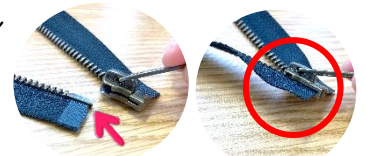
※ほかにも、留め具などさまざまなパーツが付いています

エレメント

スライダー

テープ

スライダーの中はY字路のトンネルになっていて、左右のエレメントがY字のトンネルを通して歯車のように組んだり離れたりします。これが、ファスナーが開いたり閉まったりする仕組みです。エレメントが少しでも欠けてしまうと、そこからスライダーが抜けて開閉できなくなってしまいます。また、スライダーのわずかな歪みのせいで一旦閉まったのに徐々に開いてきてしまうという状態になることも。ファスナーを開閉するときに無理な力がかからないよう、注意してください。裏地など周囲の布を巻き込んでしまったときは、布をやさしく引っ張りながら、スライダーを少しずつ動かすとよいです。左右に分かれるオープンファスナーの開閉は、蝶棒と呼ばれる先端の細い部分をしっかり下まで入れてからスライダーを引き上げましょう。下まで入れる前に引き上げてしまうと、噛み合わせがずれてスライダーが上にも下にも動かせなくなってしまうことがあるので、注意が必要です。自分で動かせない状態になってしまった時は、無理に引っ張らずにご相談を！



これをしっかり下まで入れる

営業案内 (赤い日は休み)

7月



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

※休みや営業時間は変更になることがあります

クリーニングの紺新では、さまざまなファスナートラブルに対応しています。動かしにくさの解消・スライダーのみの交換・ファスナー本体の取り換えなど、なんでもご依頼ください。店頭以外でのお問い合わせの場合は、メールや公式 LINE などから写真を送っていただくと、修理の可否の判断や見積もりの返答などがスムーズです。



“香り”の配慮、できていますか？



梅雨入りし、蒸し暑い毎日。洗濯物のニオイに悩まされている人が多いことでしょう。汗臭さや部屋干し臭を気にするあまり、香りの強い洗剤や仕上げ剤に頼っていませんか？強すぎる香りで体調を崩す人、アレルギーを発症して日常生活が困難になってしまう人がいるとの事例も報告されています。「ニオイ」の問題解決には、原因となる菌や汚れを除去することが不可欠です。不要なものをきちんと落とす洗濯を心がけ、香りによって自分自身や周囲の人が体調を崩してしまわないよう、気をつけたいですね。